

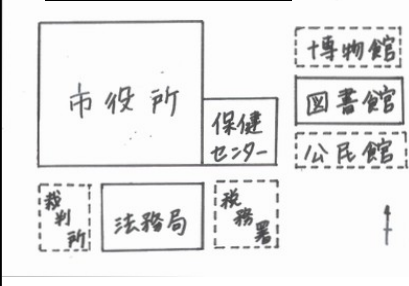
この配置でよいですか?! ~市役所周辺の再配置~

12月議会で
質問!!

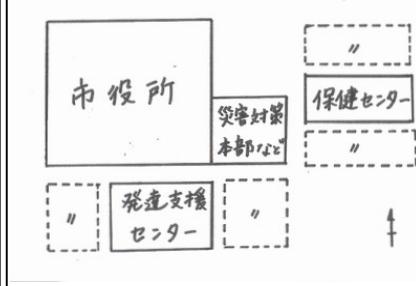
■市役所とその周辺、こう変える計画だった!

まず、約5年前(H19年)に遡ります。当時、市役所周辺は、このような配置でした(①参照)。
H19年2月に「公共施設再配置計画案(市役所周辺)」が出され、下記の配置換えが計画されました(②参照)。
“市役所を耐震化する必要がある”から始まり、計画された案です。

① 5年前の市役所周辺



② 「再配置計画案」(H19年)

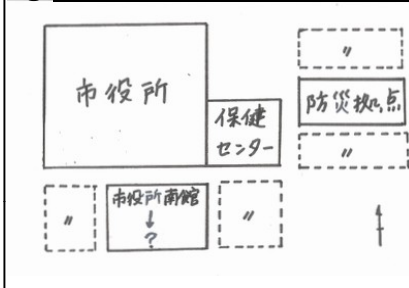


- ポイント① 図書館は移転
(宮ノ前に今夏オープン)
- ポイント② 保健センターは手狭ゆえ
現図書館跡に移転
- ポイント③ 現保健センターは
災害対策本部などに
- ポイント④ 発達支援センターを新設
(発達障がい等、発達に支援が
必要な子どもの施設)

■計画が大きく変更される案が!

そしてこのたび(H23年12月議会)、新しい案が市役所から提示されました(③参照)。

③ 新しい案(H23年12月議会出)



- ポイント①市役所の耐震化はしない
(H22年に再度検討し、10年後以降に
新築することを決定。コスト未検討。)
- ポイント②現図書館を防災拠点にする
(東日本大震災を受け、防災拠点の
強化が必要と判断。国の有利な制度を
活用。※100%起債70%交付税措置)
- ポイント③保健センターは現状のまま
- ポイント④発達支援センターは今後場所を再検討



■疑問や課題が山積み!

新しい案、みなさんどう感じられますか? 私は課題が山積であり、今後多くの検討が必要と考えます。

★H19年の「公共施設再配置計画案」はどうなった? (大きく変わっているが、計画は中止変更ということか?)

→計画案の容易な変更は許されないが、社会情勢の変化等に対応し、柔軟に施策を展開することも一定必要。
重要なのは、変更が現計画よりも勝っているか検証することと、市民に十分に説明すること。

★全体の長期ビジョンは?(現計画案に代わる全体計画がない。ゆえに全体像が見えない。付け焼刃的?)

→現在、公共施設白書(市内の公共施設の現状を調査したもの)を作成中。これを基に長期ビジョンを再構築すべき。

★防災拠点の中身は?(国の有利な財政措置を活用するのは理解するも、ソフト検討が不十分!)

→現在概要は計画されているが、今後、真に伊丹市に必要な防災機能を詳細に作り込む必要あり。

★保健センターは現状でよいのか?(手狭だから移転するんじゃないの?)

→成人健診部門が市役所南館に移ったので大丈夫とのことだが、南館も暫定利用。今後検討が不可欠。

★発達支援センターの先行きは?(待ち望む人が多いが、ずっと先送りされている。また後回し?!)

→財政難ではあるが、工夫を重ねて具体的な計画にコマを進めたいところ。

■まずは中身(ソフト)を! 主役は伊丹市!

この話は、根本的なところで大きな課題が2点あります。

1つ目は、ハード(建物)の建設が先行していること。「とにかく建物を建てよう」の時代は終焉しました。財政難の折、その資金もありません。これからは、中身(ソフト)を熟議し、それに見合う建物(ハード)を検討するべきです。

2つ目は、国県の制度に左右されていること。「補助金出るなら貰っておけ」の時代は終焉しました。

もちろん国県の制度は上手く活用すべき。しかしあくまで主役は伊丹市=地方です。伊丹市が必要とみなした事業に、国県の補助制度があれば使えばよい。やみくもに貰うから、無駄な事業が発生するんです。

今後は、私たち伊丹市民にとって真に必要な行政サービスを熟議し、それにはどんな建物が適切か判断することが必要です。これには、実際に生活する私たちのナマの声が不可欠。みなさんこれで良いですか? 声をお聞かせください。伊丹市にとって真に必要なソフトとハードを、私たちの想いで構築していきましょう。

ポイント:真に私たち伊丹市民にとって必要なモノを!

「学校園の芝生化」、ホントに大丈夫？！

12月議会で
質問！！

■学校園の芝生化、伊丹市はやっているの？

学校の校庭・幼稚園の園庭の芝生化。伊丹市では今年度、市立稲野幼稚園が取り組みました。園児・保護者などから好評とのこと。私も見ましたが素晴らしく、実施者の方々に敬意を表するところです。ちなみにコストは、初期経費(イニシャルコスト)約100万円、維持経費(ランニングコスト)約10万円/年。H24年度は、市立幼稚園1園で新たにスタートの予定です。



■芝生化はデメリットもある！

素晴らしい芝生化。しかしちょっと待った！芝生化はメリットもデメリットもあるので。メリット:①安全性の確保②温暖化の抑制③砂埃の抑制④排水の良さ⑤癒しの効果
デメリット:①管理の手間②コストの投入③養生期間の使用不可④冬枯れ

■こんな失敗例も！

残念ながら、こんな失敗例もあります。

例①東京都:都が補助金を出して推奨するも、失敗校や未実施校も多し。視察した杉並区立和泉小学校は見事だったが、同じ区内でも、枯らして多額を投じて全面張りかえるも、再び枯らして現在は中止の例も。
例②大阪府:数年前、橋下知事(当時)が推奨するも、普及率は目標に遠く及ばず。芝生は野球しにくいのが一因とも。
例③伊丹市:7年前、小学校2校で一部を芝生化するも、現在は枯れ地に。

■では成功するには？

成功例は「地域も巻き込むなどしてボランティアで完璧な管理」or「多額を投じて専門業者に委託」。どちらかです。これでない限り、失敗します。

■やるなら体制を整えて！

私は芝生化について反対ではありません。実際に稲野幼稚園は素晴らしい。ただ、実施するなら下記に配慮すべき。
①管理体制の確立:継続性のある維持管理体制を強固に確立することが必須。地域と協働体制が取れると好ましい。
②経費を抑制:芝生化の意義は理解するも、財政難の折、多額を投じることは困難。経費の抑制が不可避。

■芝生化のチェックを！

ともかく芝生化は市立幼稚園2園で実施されます。経費を投入するからには失敗は許されません。随時厳しく確認していきますので、みなさんも是非チェックしてください。

ポイント:芝生化するなら、管理の体制を確立してからだ！

職員の不祥事、防ぐには？！

総務政策常任委員会で
質問！！

■相次いだ職員の不祥事！

昨年、市職員の不祥事が相次ぎました。手当等の不正受給と、女性トイレ(職員用)盗撮です。大変遺憾であるとともに、議員として申し訳ない限りです。市民の方々からは「何をやってるんだ」とのお叱りの声を多く頂戴しました。お怒りごもっともです。私が接する限りほとんどの職員さんは市のために真面目に頑張っておられるだけに、とても残念です。

■意識の薄い職員もいる？！

こと不正受給は、管理体制に課題が見受けられたとともに、“給料や手当は市民の血税”の意識が薄い職員がいる事が表面化したと言えます。これは問題。

■不祥事を防ぐには？ ①処分の厳罰化

防止策の1つ目は「処分の厳罰化」です。市では「一般職員服務分限条例」「職員の懲戒処分に関する指針」の一部を厳罰化し、全職員に通知しました。また、補助金や各種手当については、管理体制の強化も実施しました。

■不祥事を防ぐには？ ②意識の向上

防止策の2つ目は「意識の向上」です。精神論的ですが、市職員1人1人が責任と誇りを持つことが、一番の基本であり、不祥事防止にもつながります。特効薬はなし。様々な事を積み重ね、職員そして役所全体が高い意識を持つ風土を構築せねばなりません。今回の件では、副市長から強い意識啓発が全職員に勧告されたとか。どんどんやるべき。そして、意識向上は議員も同様。改めて襟を正し、責任と誇りを持って、伊丹市の発展に全力で寄与してまいります。